

# 学びを社会の問題解決に 323人 凜と学窓飛び立つ

## 石巻専修大学

https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学  
広報係  
☎986-8580  
宮城県石巻市  
南境新水戸1番地  
☎0225-22-7717(直)

最新の  
情報は  
大学HPで。



### 2023年度学位記授与式

2023年度の学位記授与式が3月20日、本学体育館で行われた。多くの保護者や来賓が見守るなか、大学院修了生、学部卒業生合わせて323人が、希望を胸に新たな一歩を踏み出した。

修士課程総代と学部総代に尾池守学長から学位記が授与された。続いて、川島記念学術賞の9人に表彰状と記念メダルが贈られた。  
尾池学長は式辞で、さまざまな困難を乗り越えて学位を取得した学生たちをたたえ、卒業生が社会で活躍し、社会の問題解決に取り組んでほしいと期待を寄せた。  
大学院修了生を代表して阿部拓登さん(人間学部人間)



「自ら考え、判断し、行動する人に」と決意を述べた阿部さん

### 2023年度学位記授与者数

学部	学科	人数
理工学部	食環境	12
	生物科	58
	機械工	28
	情報電子工	39
	小計	137
経営学部	経営	115
	人間文化	31
人間学部	人間教育	34
	小計	65
合計		317

※学期末卒業者を含みます。

研究科	専攻	人数
理工学研究科	修士課程 物質工学	1
	修士課程 生命科学	4
	博士後期課程 物質機能工学	—
	博士後期課程 生命環境科学	—
	小計	5
経営学研究科	修士課程 経営学	1
	博士後期課程 経営学	—
小計	1	
合計		6

阿部拓登さんは、今後直面する世の中の変化や困難に触れ、私たちに社会を担う責任がある。自ら考え、判断し、行動する人であるとうる態度をとり続けたい」と力強く誓った。コロナ禍のなかでたくましさを感じた卒業生たちは、恩師や友人との別れを惜しみつつも、凜とした表情で学び舎から飛び立った。



4年ぶりに行われた卒業を祝う会



石巻専修大学卒業を祝う会

### 定年教員

長年にわたり研究や学生の指導に力を尽くされた教員3人が今春、定年退職される。  
※氏名、所属学科、主な担当、主な役職、在職年数。

#### 【理工学部】



高崎 みつる 教授  
生物科学科、「水質環境工学」、学生部長、35年

#### 【経営学部】



泉 正明 教授  
機械工学科、「設計法」、学生部長、21年

#### 【人間学部】



大坂 良宏 教授  
経営学、「企業論」、教務委員会委員長、24年



尾池学長(右)から総代に卒業証書が手渡された

### 川島記念学術賞受賞者

- 学術の分野で顕著な成績を収めた学生に対し、卒業にあたって授与される「川島記念学術賞」の2023年度受賞者は理工学部4人、経営学部3人、人間学部2人の計9人。
- ◆理工学部
    - 高橋 由樹さん (都合によりお写真は掲載致しません)
    - 佐藤 愛莉さん (都合によりお写真は掲載致しません)
  - ◆経営学部
    - 鈴木 桃太さん (都合によりお写真は掲載致しません)
    - 松本 悠乃さん (都合によりお写真は掲載致しません)
    - 泉田 くるみさん (都合によりお写真は掲載致しません)
    - 遠藤 わかなさん (都合によりお写真は掲載致しません)
  - ◆人間学部
    - 阿部 拓登さん (都合によりお写真は掲載致しません)

### 4年次生に聞く



松本 悠乃さん  
経営学部経営学学科  
専大北上高時代は高大連携授業などを受けていた私にとって、石巻専大は入学前からなじみのある場所でしたが、実際に4年間を過ごすなかで充実した学修内容や就職支援を経験し、とても魅力的な大学だと再認識しました。

### お客様に心からのおもてなしを

4年次生に、本学での日々や就職活動、今後の目標などを聞いた。  
「ホテルについて分析しました。授業以外では、接客業のアルバイトに向上心を持って取り組み、お客様のニーズをくみ取る力などを身につけました。こうした経験から、ホスピタリティを生かせる職業に就きたいと考えているようになります。就職活動ではホテル業界を志望。自己分析をしっかりと行ってきたことで、自身の強みを十分にアピールすることができました。

### 公開講座「石巻で学ぶ」 未来のまちづくり考える 専大・神田キャンパスで開催



多くの方が来場した公開講座

東日本大震災からの復興(県迫桜高)経営学部の庄興が主催する石巻市の取り組みを振り返り、未来を展望する公開講座「石巻で学ぶ」が3月16日、専修大学神田キャンパスで初開催された。人間学部3年生の佐藤陸さん(宮城)は、みやぎ東日本大震災津波伝承館(石巻市)で解説員として活動する佐藤さんが、被災経験や「まちづくり」に必要なことや「ハウ」などの質問について語った。3人が答えた。

小学2年のときに宮城県栗原市にある学校の体育館で被災した佐藤さんは、「災害について経験したことや知ったことを周囲の人と共有することも伝承の一つの形」と話した。また、解説員のやりがいや語り、自分の解説が誰かの助けになればうれしい」とまとめた。